

# 國府在<sup>リ</sup>越<sup>ノ</sup>鬱<sup>ノ</sup>郡

さて、いったいどこに…

今治市・今治市教育委員会・公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター 合同企画展

# 伊予国府を考える

— 今治平野の古代遺跡、その分析と国府発見への試み —



墨書土器「金」  
(八町1号遺跡)



銅印「倉正私印」  
(別名端谷1遺跡)



円面硯  
(伊予国分尼寺遺跡)



石帯  
(八町1号遺跡)



軒丸瓦(単弁八葉蓮華文)  
(伊予国分寺跡)



軒丸瓦(単弁九葉蓮華文)  
(伊予国分寺跡)



四国唯一の古代製鉄炉跡(高橋佐夜ノ谷II遺跡)

## 企画展

2017.9.30(土)～2018.2.12(月・祝)

休館日：月曜日(月曜日が休日の場合、翌平日)、年末年始(12/29～1/3)  
※同じ内容の企画展示を2館巡回します。  
※12/4～12/8は移動のため企画展はお休みさせていただきます。

会場	朝倉ふるさと美術古墳館 (2階展示室)	2017.9.30～2017.12.3	9:00～17:00
	村上水軍博物館 (2階企画展示室)	2017.12.9～2018.2.12	9:00～17:00

(村上水軍博物館：常設展示観覧は有料です。)

## 講演会 シンポジウム

2017.11.3(金・祝) 13:00～17:00

会場 今治市総合福祉センター (愛らんど今治)

- 講師 馬場 基 先生「国府は何をしていたところ？」(奈良文化財研究所主任研究員)  
 大橋 泰夫 先生「各地の国府と伊予国府」(鳥根大学法文学部教授)  
 首藤 久士 氏 「今治平野における古代遺跡の調査成果」(公財・愛媛県埋蔵文化財センター調査員)  
 シンポジウムコーディネーター 前園 實知雄 氏 (公財・愛媛県埋蔵文化財センター理事長)

観覧  
無料



— 今治平野の古代遺跡、その分析と国府発見への試み —

# 伊予国府を考える

今治市・今治市教育委員会・公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター 合同企画展

# 国府在越智郡

さて、いったいどこに…

平安時代中期に成立した辞書『和名類聚抄』。ここに「國府在越智郡」と記述されていることから、古代伊予国府は今治平野に存在したとされています。しかし、これまで古地名からの検討や、数多くの発掘調査・試掘調査を実施しながら、いまだその位置の確定にはいたっていません。かならずどこかに眠っている伊予国府跡。蓄積された古代今治の考古学的成果を集約・展示することによって現在の到達点を明らかにし、国府域解明の可能性を探ります。また、著名な研究者による国府研究の最前線について講演会を開催し、シンポジウムをとおして伊予国府について考えます。

## 企画展 2017.9.30(土)～2018.2.12(月・祝)

休館日：月曜日（月曜日が休日の場合、翌平日）、年末年始（12/29～1/3）  
 ※同じ内容の企画展示を2館巡回します。  
 ※12/4～12/8は移動のため企画展はお休みさせていただきます。

観覧無料

**会場 朝倉ふるさと美術古墳館**  
 2017.9.30～2017.12.3 9:00～17:00



**会場 村上水軍博物館** ※常設展示観覧は有料です。  
 2017.12.9～2018.2.12 9:00～17:00



## 講演会・シンポジウム 2017.11.3(金・祝) 13:00～17:00

### 講演会・シンポジウム内容(予定)

- 「国府は何をしていたところ?」馬場 基 先生
  - 「各地の国府と伊予国府」大橋 泰夫 先生
  - 「今治平野における古代遺跡の調査成果」首藤 久士 氏
- シンポジウム (コーディネーター：前園 實知雄 氏)

**会場 今治市総合福祉センター (愛らんど今治)**



聴講無料

### 【講師プロフィール】

大橋 泰夫 (おおはし やすお)

1959年栃木県生まれ。早稲田大学第一文学部を卒業後、現在は島根大学法文学部教授。専門は古代の役所・寺院・窯業生産を中心とする歴史考古学。これまで出雲国府・国分寺、隠岐国分寺、讃岐国府、備後国府、等の調査指導委員を歴任し、各地の古代官衙・寺院等の調査・研究の指導にあたる。主な編著書に「地方官衙と方位」(岡内三眞編『技術と交流の考古学』同成社、2013年)、「国分寺と官衙」(須田勉・佐藤信編『国分寺の創建一組織・技術編一』吉川弘文館、2013年)などがある。

馬場 基 (まば はじめ)

1972年東京都生まれ。東京大学文学部を卒業後、現在は独立行政法人国立文化財機構・奈良文化財研究所 都城発掘調査部主任研究員。専門は日本古代史、木簡学。発掘調査に携わるとともに、古代史・出土文字資料の研究から、東アジア史研究など、幅広いフィールドで活躍中。主な編著書に、『平城京に暮らす』(吉川弘文館)、「都市」平城京の多様性と限界」(『年報都市史研究』13)などがある。